

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AA392／キリスト教学講義 38 (Lectures on Christian Studies 38)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	日本宗教史		
担当者名 (Instructor)	丹羽 宣子(NIWA NOBUKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CHS2803	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

この授業では「宗教」というレンズを通して、私達を取り巻く日本社会の成り立ちの理解を目指していきます。「日本人は宗教に関心が薄い」とよく言われます。確かに特定の教団に属している人は多数派ではありませんが、私達の日常生活には宗教的な行動は多くあります。このことを理解するには、歴史的な背景を知ることが肝心です。このような視点から、現代日本社会と宗教の関わりについて考えていきます。

This course aims for students to understand Japanese society through the lens of "religion." Certainly, Japanese people who belong to a particular religion are not the majority. However, they enact many religious behaviors in daily life. To understand this situation, students need to know the historical background. From this perspective, the course considers the relationship between modern Japanese society and religion.

授業の内容(Course Contents)

日本社会と宗教の関わりについて、その歴史的背景や変遷を追いながら確認します。今日的な課題についても、歴史的視点を踏まえながら具体的事例を示しつつ考えていきます。

To understand the relationship between modern Japanese society and religion, this course addresses the outline of the history of Japanese religion, and the instructor introduces the contemporary issues.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス: <宗教>を幅広い視点から捉えるために
2. 統計データから見る日本人の宗教行動
3. 神道の形成
4. 仏教の伝来と展開
5. 神仏習合の諸相
6. 近世社会と宗教
7. 神仏分離と国家神道
8. 民衆宗教
9. 近現代の社会変動と宗教
10. 戦後の宗教
11. 現在の宗教状況(1): 転換期を迎える「伝統宗教」
12. 現在の宗教状況(2): 葬儀・墓の変化とこれから
13. 現在の宗教状況(3): 多文化共生社会と宗教
14. 授業のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

新聞やテレビで、宗教に関する報道をよくチェックしてください。よく気を付けて見てみると、様々な文脈で宗教に関わるものが登場します。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%)/出席率と授業中のコメント・リアクションペーパーの反応(40%)

テキスト(Textbooks)

参考文献や資料は授業中にその都度紹介します。レポートの参考にしてください。

参考文献(Readings)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)